



聡明 ・ 自主 ・ 愛他

令和4年5月30日発行 No.2

歩め並木と共に 学べ友と共に

5月20日(金)に、追手町小、浜井場小、丸山小(東中学校区)の6年生にも参加してもらい、小中連携りんご並木摘果作業が行われました。

昨年度、一昨年度と、コロナ禍により小学生との交流ができなかったわけですが、3年ぶりに小中連携による摘果作業をすることができたことは、本当に嬉しいことです。こういった活動を通して、並木に対する思いをこれからも繋いでいきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症の状況はまだまだ予断を許さないわけですが、社会全体の状況も、できることを少しずつ増やしていく方向にシフトし始めています。工夫をしながら、少しずつ実施可能な教育活動を増やし、生徒とともにすすめていきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

また、並木アドバイザーの皆様やシルバー人材センターの皆様のご協力で無事作業を終えることができました。紙面ではありますが心より感謝申し上げますとともに、本年度も引き続きよろしくお願いいたします。



校長講話 令和4年5月24日(火)「自主学習は何のためにするのか 仲間の工夫から学ぶ」

令和4年度がスタートして2か月。今年度初めの校長講話です。今年度もまた、校長講話は、哲学対話的形式をとっていきたいと思います。私が願っていることを確認しますね。

- ・自分の中から生まれた「なぜ」を追究することのおもしろさ
- ・世の中には正解が一つの問いよりも正解がわからない問いの方がずっと多いということ
- ・仲間の意見を聴くことで自分の見方や考え方が広がるということこの3つ、大切にしてください。



まず、今年度第1回のテーマは、「自主学習は何のためにするのか 仲間の工夫から学ぶ」です。ただ、今回は、今までとはちょっと違ってパネラーとして4名の3年生の代表者と教師側の代表者として中島先生に前にきてもらって対話をしてもらいます。皆さんには、それを聴いてもらって時間があれば、最後に感想を聞いてみたいと思います。

それでは、まずは自己紹介をお願いします。(司会：賜 正俊校長先生)

【3年生Aさん】 【3年生Bさん】 【3年生Cさん】 【3年生Dさん】 【中島香苗先生】

I 3月までの家庭学習と何か変わりましたか。

- (Dさん)前は、平日と休日で勉強する教科が決まっていたけれど、その決まりがなくなったので、満遍なくやるようになりました。
- (Cさん)自分で内容を選択できるようになって、強制ではなくなったので、勉強へのモチベーションが上がりました。半面、やらなくても何も言われなくなったので、サボることも出てきました。
- (Bさん)宿題の時は、あんまりやっていなかったけれど、自主学習になってから、自分に何が必要か、考え

てやるようになりました。

- (Aさん) 決められたことだった時は、全然やっていなかったけれど、今は大切なことややりたい教科をできるようになったので、前よりも勉強量が増えたと思います。
- (中島先生) (先生側から見て) 英語について、提出されてくる冊数は減っています。ただ、内容の面を見ると、工夫をしている人がすごく増えたと思います。今までは単語を書いて終わりだった人が、例えば日記をつけてみたり、音読をしたよ、と書いてくれたり。教科書を読んで考えたことを書いてくれたり。そういった発展的なものに取り組んでくれる人が増えています。

2 どんな工夫をしていますか。

- (Aさん) 前は問題集をひたすら解いていたのですが、自主学習になったので、公式や単語をまとめるノートを作るようになりました。
- (Bさん) 今までの自分は、例えば数学をやっても中途半端で終わってしまっていたので、1週間1つの教科をやり続けて、どこまでできるか、をやっています。時間は、平日9:00から11:00までやっています。
- (Cさん) Aさんと似ているのですが、今までは本当に問題集をひたすら解くことをやっていたのですが、例えば歴史だったら、その人物が何をしたのかとか、詳しいことまで調べて覚えるようになりました。
- (Dさん) 自分は問題を解く方法が自分に合っていると思うので、1週間の計画を立てて、毎日数学と英語と国語の白文帳はやるようにして、それに加えて、毎日1教科ずつやるようにしています。

3 困っていることはありますか。

- (Dさん) 強制ではないので、疲れている日とか時間がない日とかはサボりがちになってしまうというのと、何をどのくらいやればいいのか分からないというのがあって、テスト前の計画は期間が短いので立てやすいのですが、1年間かけてとなると、どのくらいのペースで進めていけばいいのか分からないな、ということがあります。
- (Cさん) 僕もほとんど同じなんですけど、たまにサボってしまうことがあるので、その甘さを直したいと思っています。
- (Bさん) 自分も結構似ているのですが、疲れている時にサボってしまうことが多いのと、何をすればいいのかわからなくなる時も結構多かったです。
- (Aさん) 自分は、日ごと、月ごと、週ごととかに、やる量が全然違って、継続が難しいなと思います。
- (中島先生) (アドバイスとして) 計画を立てる時に、予備の日、休みの日を入れるといいです。疲れてしまったり、しんどくてできなかつたりした時の分を、その日にやったらどうかと思います。

4 なんのために自主学習をやると考えていますか。これからどうやっていきたいですか。

- (Aさん) 自主学習は自分の苦手なところを伸ばすためにあると思うので、できるだけ自分に甘くならないように進めていきたいと思っています。
- (Bさん) 宿題の時は、自分は強制だと思っていたけど、自主学習になったら、自分に何が足りないのか、よく考えてやろうと考えています。
- (Cさん) 今年受験ということもあって、志望校合格というのが目標なので、それに向かってまだ苦手な教科を進めて、克服していきたいと思っています。
- (Dさん) 授業で習ったことの理解を深めるというのと、内容を定着させるということが自主学習でできると思うので、毎日継続してやって、定着していけるようにしたいと思っています。
- (中島先生) (アドバイスとして) 自主学習に切り替わって、戸惑いもあると思いますが、悩みながら、工夫しながら、自分の勉強について真剣に考えられる機会になったと思います。勉強は一生なので、仕事をするようになって学ぶことはたくさんありますし、そういう時に、何をどのくらい、いつまでにやったらいいのか考えられる力はすごく大事だと思うので、そういう力も、皆さんはつけていけるのかな、と思います。

今年最初の哲学対話は、どうでしたか。私は、自主学習では、各教科の力をつけてもらいたいと同時に、次の二つのことも伸ばして行ってほしいと思っています。

まず、自分自身の力をよく知ってもらいたい。わからないことを知り、わかるようになってもらうために自主学習をやる。わかってるつもりになっていることがあるかもしれないから、より深くわかるようになるために。そして、計画する、工夫しやり抜く、人を頼る、人に聞くといったことを続けながら家庭学習に取り組むことで、これからの時代を生き抜いていく上でとても重要な学び方を身に付けていくことができるはずです。

自分にとっての自主学習とは何か。考えてみてください。本日の生活ノートには、そのことを書いてきてもらえると嬉しいなあ。是非、考えてみてください。そして、本日からの自主学習がより充実していくことを願っています。

最後に、東中校内に新しくできたサテライトキャンパスでも哲学対話を行っていこうと思っています。何でも自由に校長と語る、喋り場として新しくできた演習室を活用してみたいと思います。哲学対話の続き、新たな哲学対話のテーマを生み出していく時間にもしたいと思いますので、気楽に顔をだしてみてください。日にちや時間は、また連絡します。

コロナには十分気を付け！学期頑張っていきましょう。

意見発表 令和4年5月17日(火)

『小学校とちがう中学校の生活』 1年生代表生徒

私は、中学校に入学して、小学校とは違うと感じたことがありました。一つは学習です。小学校は担任の先生がほとんど授業を行っていましたが、中学では、いろんな先生と授業することが新鮮に感じました。また、小学校のことがちゃんとできていないと難しいと感じました。数学だと基本的な計算や図をかき技術が必要になったり、国語だと漢字を書けることや、文章を考える力が必要になったりすると思いました。

中学校での学習で、特におもしろいと思った教科は理科です。微生物の観察では、動いている小さい微生物を見つけ、観察していると、クネクネと動いていました。その動きがおもしろいと思ったので、他にどんな微生物がいるのか微生物についてももっと詳しく調べてみたいと思いました。理科では、実験の結果がどうなるのか予想するのが楽しいです。これからは、新しく習った言葉などを何回も書いて練習して、意味や言葉を理解できるように勉強していきたいです。

二つ目にあいさつです。廊下ですれ違ったとき、こんにちを言うところが小学校と違うと思いました。小学校ではあまりこんにちを言わなかったけれど、東中では、あいさつをかわすことが、他人を思いやる、愛他の精神につながっているのかなと思いました。なので、私も、あいさつをしっかりしていきたいです。また、クラスの人にはあまりあいさつができていないので、クラスの人に対してもそうしていきたいです。

学習とあいさつのこの二つがしっかりできるような中学生になっていきたいです。

『私が頑張っていること』 2年生代表生徒

みなさんは、今、自分の中で頑張っていること、一生懸命やっていることはありますか？

私が今頑張っていることは新体操です。新体操とはどんなスポーツなのかというと、リボンやクラブ、ボール、フープなどの手具という物を使って一分半演技し、その得点で順位が決まるスポーツです。

練習では、演技の練習だけでなく、柔軟や筋トレなど演技のための自分の体づくりからやります。柔軟では、痛くてつらい時もあるけど、この痛みから逃げていたら自分のためにならないし、上達することも出来ません。なので、私が体づくりの時に大切にしていることは、「逃げるのではなく、一生懸命取り組む」という事です。同じ練習をしていても、逃げるのと上手に出来なくても諦めずやるのとでは、必ず差が生まれます。自分の上達のために、逃げないという気持ちを大切にこれからも頑張っていきたいです。

実際の演技では曲に合わせて動き、その中で手具の投げなどを成功させることが重要になってきます。なので、「つま先を伸ばす」や「しっかり回り切ってから手具をキャッチする」などの具体的な目標を立てて取り組むようにしています。具体的な目標を立てることで、今日の練習では特にどこを意識してやればいいのか良く分かるし、練習が終わった後に振り返りをして、達成できたのか、出来なかったのか、自分の演技を見直すきっかけが生まれ、その反省を次に生かすことができます。

体づくりでは逃げないことを、演技の練習では具体的な目標を立てて取り組むことを大切に、これからも頑張っていけるようにしたいです。

『副委員長になって』 3年生代表生徒

私は今年度保健委員会の副委員長になりました。主な仕事は学友会時の司会進行や記録をすることです。副委員長を5ヶ月間やってきて成長できたと思うことが3つあります。

1つ目はどう話せば1人1人に伝わるかを意識できるようになったことです。私は中学に入って人前で話す経験がほとんどありませんでした。ですが、学友会入会式では前を向いて人に伝えよう！という気持ちで発表することができました。

2つ目は、1年生に指導する健康観察や給食指導で、前日に内容の確認ができたことです。自宅で練習して準備することで、自信をもって取り組みました。

3つ目は幅広く仲間と話せたことです。学友会を通してクラスの仲間だけでなく、それまで話したことがなかった仲間と関わることができ、学校生活が楽しくなりました。

この3つのことをこれからも継続しつつ、委員長と協力して1回1回の学友会をもっと活発にしていきたいです。

1 学期後半の主な行事予定

月 日 (曜)	主 な 行 事 予 定
6月 1日 (水)	<input type="checkbox"/> PTA講演会・拡大施設部会・合同分会・学年学級PTA
6月 6日 (月) ~ 10日 (金)	<input type="checkbox"/> 授業参観WEEK
6月 11日 (土)・ 12日 (日)	<input type="checkbox"/> 中体連南信大会予選
6月 13日 (月)	<input type="checkbox"/> 振替休業
6月 19日 (日)	<input type="checkbox"/> 第1回資源回収 (施設部)
6月 25日 (土)・ 26日 (日)	<input type="checkbox"/> 中体連南信大会
7月 5日 (日)	<input type="checkbox"/> 1年阿南キャンプ
7月 5日 (月)・ 6日 (水)	<input type="checkbox"/> 2年職場体験学習
7月 5日 (月) ~ 7日 (木)	<input type="checkbox"/> 3年修学旅行 ※8日 (金) 計画休業
7月 11日 (月) ~ 21日 (木)	<input type="checkbox"/> 3年教育相談 (三者)
7月 24日 (日)	<input type="checkbox"/> 親子並木作業
7月 25日 (月)	<input type="checkbox"/> 1学期終業式
7月 26日 (火) ~ 8月 22日 (月)	<input type="checkbox"/> 夏期休業
7月 23日 (土) ~ 8月 1日 (月)	<input type="checkbox"/> 高校体験入学
8月 4日 (木) ~ 7日 (日)	<input type="checkbox"/> いいだ人形劇フェスタ
8月 6日 (土)	<input type="checkbox"/> 飯田りんごん
8月 6日 (土)	<input type="checkbox"/> 飯田りんごん帰宅指導 (校外指導部)

飯田東中学校ホームページ
<http://higasijh.ed.iidanet.jp/>

